

東洋英和女学院大学大学院

2017年度前期入学試験
春季選抜 問題

人間科学研究科人間科学専攻
修士課程

(幼児教育コース)

小論文

幼児教育コース問題

1. 下記の二つの新聞報道を読み、『出生前診断』について、自身の専門領域の見地から論を 800 字程度で展開しなさい。

別紙資料

資料 1) 朝日新聞 DIGITAL 「新型出生前診断、3 年半で 3 万 7 千人受信」2016 年 12 月 16 日。
資料 2) 朝日新聞 DIGITAL 「ダウン症の人、9 割が『毎日幸せ』厚労省が当事者調査」2016 年 11 月 23 日。

2. 多文化共生に関して、我が国においても関心が示されるようになってきている。このような社会的動向をふまえ、「保育所」「幼稚園」などの就学前機関において「保育者」はどのように取り組むことが必要だと思われるか、あなた自身の考えを 800 字程度で書きなさい。

以下の内容を参照としてあげておく。

1) 東京都は、多文化共生推進の基本的な考え方と施策の方向性を示した「東京都多文化共生推進指針～世界をリードするグローバル都市へ～」(東京都生活文化局)(平成 28 年 2 月 16 日)を策定し、本指針に基づき、日本人と外国人が共に参加・活躍できる多文化共生社会の実現に向け、様々な取り組みを推進していく姿勢を示している。

2) 総務省の「多文化共生の推進に関する研究会」は、地域における多文化共生を「国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的ちがいを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくこと」(総務省「多文化共生の推進に関する研究会 報告書」2006 年 3 月、5 頁)と定義し、その推進について検討を行った。2007 年 3 月に、「多文化共生の推進に関する研究会報告書 2007」を発行した。

3) 幼児教育学・小児看護学・医学・心理学や社会学などの異なった分野から、多文化な背景をもつ子どもや家族を含む子育て支援や保育・教育の研究を続けてきた多文化子育てネットワークは、多文化子育て実態調査を 2 回にわたって実施し、「多文化子育て調査報告書」2001 年平成 13 年 9 月 1 日発行(平成 18 年 4 月 5 日改定)および「第 2 回多文化子育て調査報告書」2012 年 11 月 3 日を報告公開している。

資料 1)

資料 2)